

長良川で採集されたレッドテールキャットフィッシュとマダラロリカリア

Records of Redtail catfish *Phractocephalus hemioliopterus* and Suckermouth armored catfish *Pterygoplichthys disjunctivus* in the Nagara River, Gifu Prefecture, Japan

向井貴彦¹・説田健一²

Takahiko Mukai¹, Ken-ichi Setsuda²

¹岐阜大学地域科学部；²岐阜県博物館

要 旨

岐阜県産魚類として、新たにレッドテールキャットフィッシュの情報が得られ、2例目のマダラロリカリアの標本も確認された。これらによって、岐阜県内で確実な証拠に基づいて分布が確認されたのは、在来72種、国内外来11種、国外外来20種の合計103種、証拠標本は無いが分布したと推定されるのは汽水魚11種となった

写真や標本といった確実な証拠に基づく魚類相の目録は、その地域の過去や現在の自然環境を知るうえで、非常に重要な資料となる(藤田ほか, 2008; Miyazaki *et al.*, 2014; Miyazaki *et al.*, in press)。岐阜県内では、文献と博物館登録標本などを活用し、在来72種、国内外来11種、国外外来19種の合計102種、証拠標本は無いが分布したと推定される汽水魚11種が知られている(向井ほか, 2012, 2013, 2014)。しかし、水産放流や鑑賞魚の放逐等、外来魚の侵入による生物相の変化が各地で起きており(多紀, 2008; 日本魚類学会自然保護委員会, 2013)、日本国内でも東京都と神奈川県の間を流れる多摩川では観賞魚由来と考えられるさまざまな熱帯魚が捕獲されている(山崎, 2012)。

岐阜県内でもヨーロッパナマズやマダラロリカリア、ポリプテルス、コリドラスといった観賞魚が野外で採集されている(向井ほか, 2013, 2014)。本州では冬季の低温によって熱帯魚の定着は難しいが、亜熱帯の沖縄県では非常に多くの外来魚が定着し、問題となっている(石川ほか, 2013)。そのため、観賞魚の放逐はその地域の在来生態系に対する潜在的な脅威であり、野外での新たな外来種の侵入に対するモニタリングや、これまでの侵入状況を知るための記録の蓄積が必要である(Miyazaki *et al.*, in press)。

今回、長良川漁業協同組合(岐阜市東島)において、長良川で採集された大型の外来魚の標本が展示されてい

たため(図1)、外来魚の採集記録として報告するとともに岐阜県産魚類目録の改訂を行った。



図1. 長良川漁業協同組合玄関ロビーに展示されている魚類標本。

記 載

(1) ナマズ目ピメロドゥス科

(1-1) レッドテールキャットフィッシュ

Phractocephalus hemioliopterus Bloch & Schneider, 1801

①標本(図2) 長良川漁業協同組合所蔵(ホルマリン固定標本)、1個体、全長42.0cm、標準体長37.0cm、体重1650g、岐阜県岐阜市長良川、2008年9月採集。

②同定 口は正面を向き、口ひげは3対。背鰭後方に発達した脂鰭がある。背鰭条数I+6; 胸鰭条数I+6; 腹鰭条数I+5; 臀鰭条数I+6。鱗は無く、頭部背面



図 2. 2008 年 9 月に長良川で捕獲されたレッドテールキャットフィッシュ。

と背鰭前方が骨質板で覆われる。頭部には黒点が散在する。背面および体側下方は黒く、体側中央部は白い。腹面は白い。形態および色彩の特徴は観賞魚として日本国内で広く流通するレッドテールキャットフィッシュ *Phractocephalus hemioliopterus* とよく一致し (江島, 1999), 形態の類似した同属の現生種がないことから, 本研究ではこの標本をレッドテールキャットフィッシュ *Phractocephalus hemioliopterus* と同定した。本種の科名および種名には標準和名が無いため, 科名は上野・坂本 (2005) に従い, 種名は流通名を用いた。

(2) ナマズ目ロリカリア科

(2-1) マダラロリカリア

Pterygoplichthys disjunctivus (Weber, 1991)

①標本 (図3) 長良川漁業協同組合所蔵 (ホルマリン固定標本), 1 個体, 全長 40.4cm, 標準体長 34.0cm, 体重 630g, 岐阜県岐阜市長良川, 2008 年 9 月採集。

②同定 体側部が大型の固い鱗で覆われ, 腹面に鱗はなく, 吸盤状の口が下面に開き, 口角部に左右 1 対のヒゲがあるなどの特徴で, 容易に他の日本産淡水魚と区別できる。本標本の計数形質は, 背鰭鰭条数 I+11; 胸鰭鰭条数 I+6; 腹鰭鰭条数 I+5; 臀鰭鰭条数 I+4; 側線鱗数 30 であり, 腹面まで独特のまだら模様があるといった特徴が, 沖縄島に定着したマダラロリカリア *Pterygoplichthys disjunctivus* の特徴 (竹島・吉野, 1996; 中坊, 2000) および海津市漁協が 2011 年に採集した同種の標本 (向井ほか, 2013) と, よく一致した。したがって, 本研究ではこの長良川産標本を, 岐阜県で 2 例目のマダラロリカリアと同定した。

(3) 岐阜県産魚類目録の訂正

岐阜県内で確実な証拠に基づいて分布が確認されたのは, 在来 72 種, 国内外来 11 種, 国外外来 20 種の合計

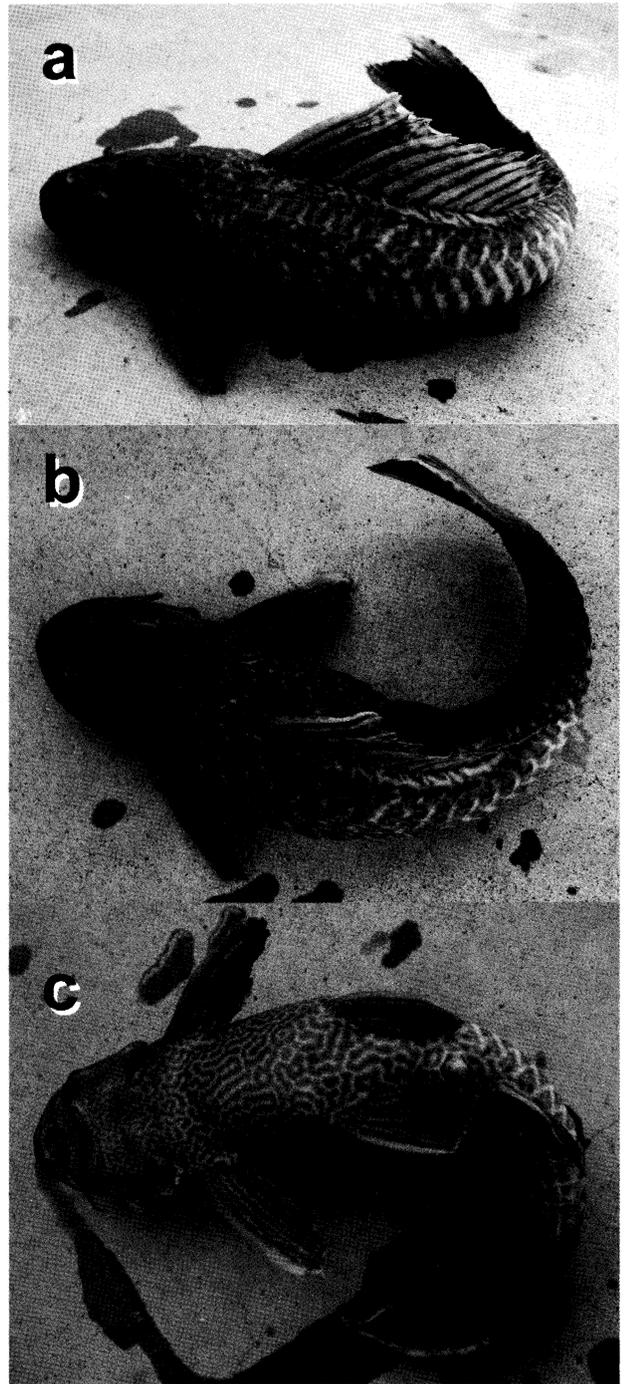


図 3. 2008 年 9 月に長良川で捕獲されたマダラロリカリア。
a: 側面. b: 背面. c: 腹面。

103 種, 証拠標本は無いが分布したと推定されるのは汽水魚 11 種となった。末尾に修正した岐阜県産魚類目録を掲載した (表 1)。

記 載

長良川漁業協同組合事務局の浅野彰吾さんには, 標本

の測定や撮影のためにご協力いただいた。ここに厚く感謝する。

山崎充哲, 2012, タマゾン川 多摩川でいのちを考える。旬報社, 東京, 180p.

文 献

江島勝康, 1999, 世界のナマズ増補改訂版. (株) エムピージェー, 横浜市, 223p.

藤田朝彦・西野麻知子・細谷和海, 2008, 魚類標本から見た琵琶湖内湖の原風景. 魚類学雑誌, **55**, 77-93.

石川 哲郎・高田 未来美・徳永 圭史・立原 一憲, 2013, 沖縄島に導入された外来純淡水魚類の定着状況および分布パターン. 保全生態学研究, **18**, 5-18.

Miyazaki, Y., Murase, A. and Senou, H., in press, A natural history museum as a platform for accumulating verifiable information on non-native fishes: A Japanese example. *Manag. Biol. Invasion*.

Miyazaki, Y., Murase, A., Shiina, M., Naoe, K., Nakashiro, R., Honda, J., Yamaide, J. and Senou, H., 2014, Biological monitoring by citizens using Web-based photographic databases of fishes. *Biodiv. Conserv.*, **23**, 2383-2391.

向井貴彦・古屋康則・千藤克彦・説田健一, 2012, 岐阜県産魚類目録の再検討. 岐阜県博物館調査研究報告, **33**, 29-37.

向井貴彦・国崎 亮・淀 太我・寺町 茂・千藤克彦・説田健一, 2013, 岐阜県における 2 種の外来ナマズ目魚類の野外での初記録と文献に基づく岐阜県産魚類目録の改訂. 岐阜県博物館調査研究報告, **34**, 47-54.

向井貴彦・長野浩文・長野光・宮島弘佳・千藤克彦・説田健一, 2014, 岐阜県での分布が確認されたボウズハゼおよび証拠を伴う外来魚 5 種の記録. 岐阜県博物館調査研究報告, **35**, 1-9.

中坊徹次, 2000, ロリカリア科. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索 第 2 版, 282. 東海大学出版会, 東京. 日本魚類学会自然保護委員会 (編), 2013, 見えない脅威 “国内外来魚”: どう守る地域の生物多様性. 東海大学出版会, 秦野市, 254p.

竹島雅彦・吉野哲夫, 1996, 沖縄島に帰化したナマズ目魚類 *Liposarcus disjunctives* の報告. 沖縄生物学会誌, **34**, 35-41.

多紀保彦 (監修), 2008, 決定版 日本の外来生物. 平凡社, 東京, 479p.

表 1. 2015 年版岐阜県産魚類目録

科 名	種 名	GPM-Z (番号順に3つまで)
ヤツメウナギ科	スナヤツメ北方種	16436, 16437, 16438
ヤツメウナギ科	スナヤツメ南方種	16451, 16452, 16453
ウナギ科	ニホンウナギ	228, 887, 888
コイ科	カワムツ	849, 851, 884
コイ科	ヌマムツ	12678, 13930, 17457
コイ科	オイカワ	879, 873, 1929
コイ科	ウグイ	897, 898, 1974
コイ科	アブラハヤ	1936, 7160, 7177
コイ科	タカハヤ	7160, 14063, 14072
コイ科	タモロコ	1934, 7149, 7180
コイ科	モツゴ	874, 890, 14039
コイ科	ウシモツゴ	12773, 12774, 14027
コイ科	カワヒガイ	1933, 7178, 9994
コイ科	ツチフキ	13941, 13942, 17589
コイ科	カマツカ	844, 853, 880
コイ科	ゼゼラ	13928, 13943, 13949
コイ科	カワバタモロコ	13947, 13948, 17598
コイ科	コウライモロコ	845, 861, 7244
コイ科	デメモロコ	13926, 13927, 13946
コイ科	イトモロコ	12768, 14083, 17549
コイ科	ニゴイ	7172, 14011, 14064
コイ科	コイ	77, 854, 1923
コイ科	オオキンブナ (2 倍体フナ)	801, 883, 1977
コイ科	ギンブナ (3 倍体フナ)	(区別不能)
コイ科	ヤリタナゴ	807, 812, 868
コイ科	アブラボテ	13952, 13953, 13954
コイ科	イタセンバラ	352, 353, 571
コイ科	イチモンジタナゴ	810, 7184, 18313
コイ科	シロヒレタビラ	14012, 18293, 18305
ドジョウ科	ドジョウ	846, 867, 891
ドジョウ科	ニシシマドジョウ	890, 1932, 7151
ドジョウ科	トウカイコガタスジシマドジョウ	14024, 17471, 18332
ドジョウ科	アジメドジョウ	871, 7159, 12668
ドジョウ科	ホトケドジョウ	12670, 18455, 19402
ギギ科	ネコギギ	860, 7152, 12663
ナマズ科	ナマズ	730, 852, 857
アカザ科	アカザ	882, 1930, 7148
アユ科	アユ	848, 858, 885
シラウオ科	シラウオ	1942

科名	種名	GPM-Z (番号順に3つまで)
サケ科	イワナ	864, 894, 7193
サケ科	アマゴ (サツキマス)	872, 7163, 12679
サケ科	ヤマメ (サクラマス)	12674, 13937, 13938
トゲウオ科	ハリヨ	515, 7345, 14045
ボラ科	ボラ	1970, 7169, 14099
メダカ科	ミナミメダカ	13961, 13962, 13963
サヨリ科	クルマサヨリ	322, 18394
フサカサゴ科	カサゴ	326
カジカ科	カジカ小卵型	9995, 10307, 12613
カジカ科	カジカ大卵型	1937, 2006, 7157
カジカ科	アユカケ (カマキリ)	865, 18292, 18301
スズキ科	スズキ	325, 847, 1976
ヒイラギ科	ヒイラギ	327, 1986
シマイサキ科	シマイサキ	323, 5049
ベラ科	キュウセン	324
ドンコ科	ドンコ	13964, 13965, 14032
カワアナゴ科	カワアナゴ	13944, 13945, 19247
ハゼ科	ボウズハゼ	写真 KPM-NR 149501A,B,C
ハゼ科	シマヨシノボリ	12666, 14015, 14003
ハゼ科	カワヨシノボリ	886, 1935, 7150
ハゼ科	オオヨシノボリ	869, 13915, 14002
ハゼ科	トウヨシノボリ	14004, 14016, 18486
ハゼ科	シマヒレヨシノボリ	14067, 19916, 19917
ハゼ科	トウカイヨシノボリ	14009, 14038, 19593
ハゼ科	ゴクラクハゼ	13904, 14014, 14023
ハゼ科	チチブ	1946, 14017
ハゼ科	ヌマチチブ	7188, 10346, 10382
ハゼ科	シモフリシマハゼ	14073
ハゼ科	ウキゴリ	13966, 13967, 13968
ハゼ科	スミウキゴリ	12610, 17579, 18298
ハゼ科	ビリンゴ	14025, 16402
ハゼ科	マハゼ	321, 7170, 14018
ハゼ科	アシシロハゼ	14020, 16403, 18302
国外外来種		
ポリプテルス科	ポリプテルス・エンドリケリー	写真 KPM-NR 149503A
コイ科	タイリクバラタナゴ	811, 878, 7182
コイ科	ソウギョ	18395
コイ科	ハクレン	写真 KPM-NR 149505A
ドジョウ科	カラドジョウ	16416, 16417, 16418
ナマズ科	ヨーロッパナマズ	17499
イクタルルス科	チャンネルキャットフィッシュ	写真のみ

科 名	種 名	GPM-Z (番号順に3つまで)
カッリクテュス科	コリドラス・アエネウス	写真 KPM-NR 149504A
ピメロドゥス科	レッドテールキャットフィッシュ	長良川漁協所蔵 (本報
ロリカリア科	マタフロリカリア	17472
サケ科	ニジマス	881, 13929, 17501
サケ科	ブラウントラウト	13996, 19639, 19640
タウナギ科	タウナギ	14058
カダヤシ科	カダヤシ	14022, 14028, 14048
カダヤシ科	グッピー	写真のみ
サンフィッシュ科	オオクチバス	982, 7196, 13915
サンフィッシュ科	コクチバス	12770, 13029, 18228
サンフィッシュ科	ブルーギル	504, 7207, 19528
カワズズメ科	ナイルティラピア	13958, 13959, 13960
タイワンドジョウ科	カムルチー	932, 1982, 14036
国内外来種		
コイ科	ハス	328, 1015, 1984
コイ科	ワタカ	1979, 18404
コイ科	ゲンゴロウブナ	800, 850, 893
コイ科	ビワヒガイ	10325, 19220
コイ科	ホンモロコ	DNA データのみ
コイ科	スゴモロコ	14079, 14080, 14091
コイ科	カネヒラ	809, 16405, 18399
ドジョウ科	オオガタスジシマドジョウ	19478
ギギ科	ギギ	7195, 7245, 14088
キュウリウオ科	ワカサギ	14041
ケツギョ科	オヤニラミ	14042, 17564
文献的には県内の分布が推定されるが、証拠標本を伴わない種		
ニシン科	サッパ	なし
ニシン科	コノシロ	なし
ボラ科	メナダ	なし
ボラ科	セスジボラ	なし
コチ科	マゴチ	なし
タイ科	クロダイ	なし
ハゼ科	ヒメハゼ	なし
ハゼ科	アベハゼ	なし
ハゼ科	ウロハゼ	なし
カレイ科	イシガレイ	なし
フグ科	クサフグ	なし